

グローバル住販G

建売事業を本格化

埼玉・都下で、300万円台主力

グローバル住販グループは、今期(10年6月期)から建売事業を本格化する。建売事業会社のヒューマンウェルディの社名をエルキャストに変更するとともに、本社を埼玉

県所沢市に移転(登記中)。埼玉県下、東京都下を中心に「敷地面積30坪以上、3000万円台の値ごろ感のある良質な戸建てを供給する」(グローバル住販経営企画室)考え、今期は引き渡しベ

地取得が見込める大宮、八王子、川越、入間、狭山なども開発エリアとして視野に入れながら、市場特性、需給バランスを見極めて開発を進めていく考えだ。

ーバル住販経営企画室)考え、今期は引き渡しベ

「所沢周辺エリアは、街」としては完成している

開発にあたっては、敷地面積30坪以上、販売価格3000万円台を基本

0棟を計画している。同グループは、06年6月から建売事業を開始。東京都小平市で9棟、杉並区で3棟を開発した実

「この規模で3000万円台は一次取得者が購入できる価格帯。対象にするエリアや用地によっては、2000万円台の戸建ても提供する」(同)方針。

用地については、すでに葛飾区や入間、所沢に取得しているほか、現在10数棟分の用地取得を検討している。

同グループは、06年6月から建売事業を開始。東京都小平市で9棟、杉並区で3棟を開発した実

また、所沢エリアだけでなく、収益性の高い用

このため、分離発注に

「この規模で3000万円台は一次取得者が購入できる価格帯。対象にするエリアや用地によっては、2000万円台の戸建ても提供する」(同)方針。

このため、分離発注に

このため、分離発注に

このため、分離発注に

このため、分離発注に

このため、分離発注に

このため、分離発注に

このため、分離発注に

このため、分離発注に

このため、分離発注に

このため、分離発注に

このため、分離発注に

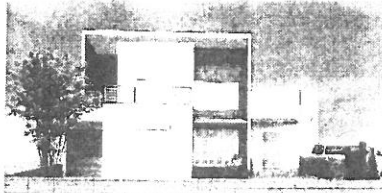
建売住宅に本格参入

グローバル住販

初年度50戸の販売目指す

マンション事業のグローバル住販（本社・東京都新宿区）は、建売住宅に本格的に参入していく。

これまで休眠中だった会



グローバル住販が手掛ける1次取得者向け建売住宅11完成予想パース

社を新たに「エルキャスト」と名称変更し、本社の埼玉県所沢市エリアをメインに展開する方針だ。1次取得者向けに3000万円前後の価格帯で供給していく考え。初年度は50戸程度の売り上げを見込んでいる。

外部から専門スタッフを招聘（へい）しスタートする。既に所沢市近郊で2現場、都内で1現場の用地の仕入れを完了した。同社では、「事業の多角化を目的に展開する。これまで培ってきたマンション事業のノウハウを、建売住宅にも反映させたい。低廉で質の高い住宅を供給していく」としている。

グローバル住販では、グループ会社でマンション開発を手掛けるエルシードを通じて、建売住宅を供給してきた実績がある。今回の新会社化は、より専門特化性を高めていこうとの考えだ。